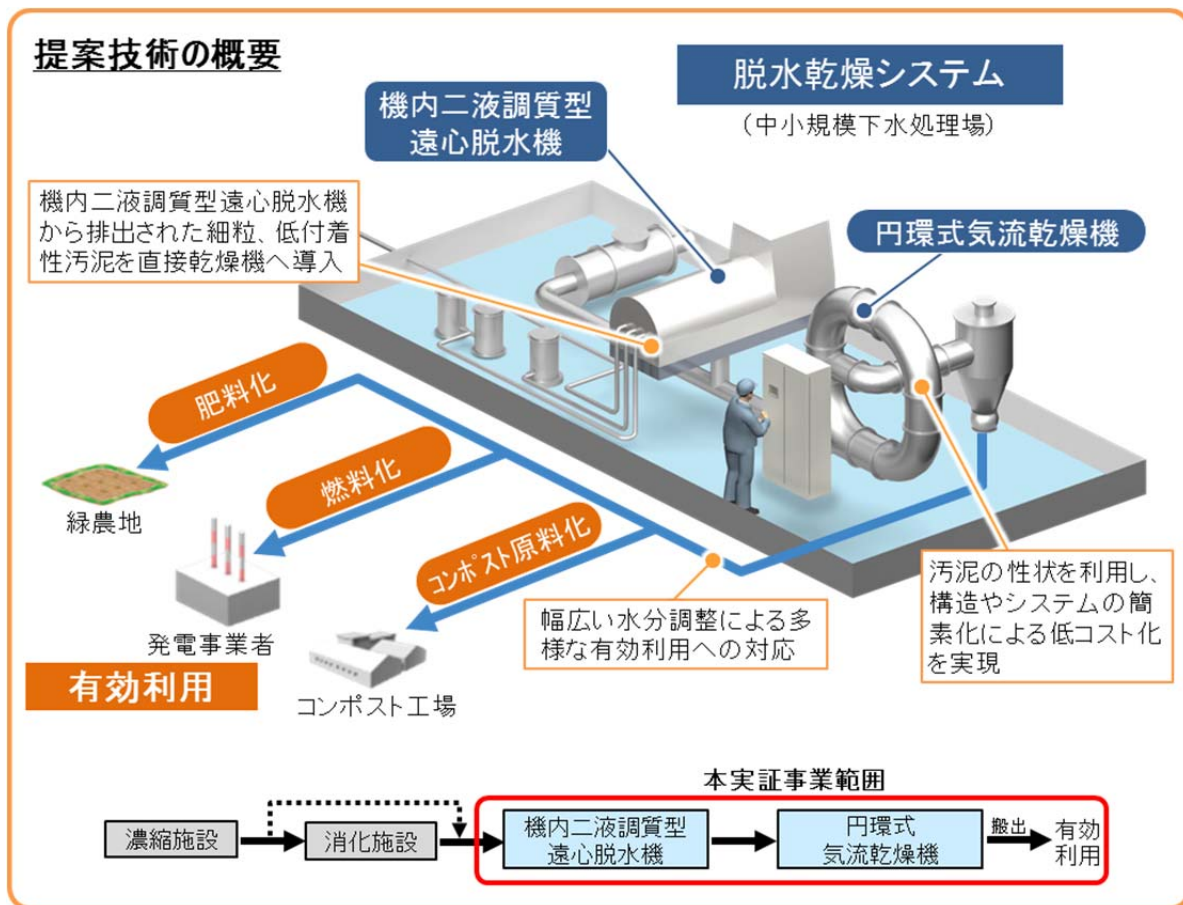


平成 28 年 4 月 27 日
月島機械株式会社

**国土交通省におけるB-DASHプロジェクトの採択について
(脱水乾燥システムによる下水汚泥の肥料化・燃料化技術実証事業)**

月島機械株式会社（社長：山田和彦 以下「TSK」）、サンエコサーマル株式会社^{※1}（社長：本橋時男 以下「SET」）、地方共同法人日本下水道事業団^{※2}（理事長：谷戸善彦、以下「JS」）、鹿沼市（市長：佐藤信）、公益財団法人鹿沼市農業公社^{※3}（理事長：佐藤信、以下「農業公社」）の5者からなる共同研究体は、国土交通省が実施する下水道革新的技術実証事業（B-DASHプロジェクト）^{※4}において、「脱水乾燥システムによる下水汚泥の肥料化・燃料化技術実証事業」を提案し、平成28年度実施事業として採択されましたことをお知らせいたします。

本提案は、中小規模の下水処理場を対象とした脱水乾燥システム（機内二液調質型遠心脱水機＋円環式気流乾燥機）を用いて乾燥汚泥を製造し、下水汚泥の肥料化・燃料化などの多様な有効利用への適応性や設備の性能、ライフサイクルコスト縮減等を実証するものです。



下水道業界においては、平成27年5月に下水道法が改正され、下水道事業者は下水汚泥を肥料や燃料として再利用するよう努力義務が課せられています。しかし全国の下水处理場では脱水汚泥のセメント原料や建設資材への利用は実施しているものの、肥料や燃料としての利用は限られており、更なる有効利用率の向上、循環型社会への貢献を目指すには、多様な分野へ有効利用方法を拡大する必要があります。

従来の乾燥技術では加熱面への汚泥の付着対策が必要であるため、機器やシステムが複雑となりコスト高となっていました。本提案技術では、機内二液調質型遠心脱水機から排出される汚泥の性状（低付着性および細粒状）を利用し、機器構造やシステムをシンプルにすることにより、安価な設備とすることが可能となります。また乾燥汚泥含水率の調整範囲が広く、単一の設備において多様な有効利用の用途を確保することで、持続可能な地域循環型社会の構築を実現します。

本実証事業においては、汚泥の有効利用を図るため共同研究体の構成員と協力することにより、肥料化と燃料化を組み合わせたスキームを確立します。特に、農業公社の協力のもと、肥料化への適応性を実証し、JSの持つ知見を活かして本技術の普及に向けた取り組みを推進する予定です。また、産業廃棄物の収集運搬、中間処理および廃熱を利用した発電事業のノウハウを保有するSETとの連携を図ることで、下水汚泥の燃料としての利用方法を確立し、地産地消のスキーム構築を展開してまいります。

月島機械グループは、本実証事業を通して、下水汚泥の有効利用を促進するとともに従来の課題であったコスト縮減を可能とした汚泥処理技術を確立し、環境の保全と循環型社会の構築を推進してまいります。

以上

*1 サンエコサーマル株式会社（所在地：栃木県鹿沼市下石川737-55）

産業廃棄物および一般廃棄物の減量・無害化のため安定した廃棄物処理事業を基幹事業として展開する月島機械のグループ会社です。鹿沼市において昭和62年から廃棄物処理事業を営み、また平成10年からはサーマルリサイクルとして焼却廃熱を活用した発電・売電事業を推進しており、平成26年10月からは太陽光発電施設「サンエコソーラーファーム」による発電・売電事業も行い、栃木県を中心とした周辺地域における循環型社会の構築に貢献しています。

*2 地方共同法人日本下水道事業団（所在地：東京都文京区湯島二丁目31番27号）

地方公共団体の下水道事業に関して、各種計画策定や経営支援などの技術援助、施設の設計・施工の受託、技術開発、地方公共団体職員向けの研修等の業務を行う公的機関です。日本の下水処理施設の約7割に当たる約1,400箇所の下水処理場の改築・更新に関わり、日本の下水道を支えています。

*3 公益財団法人鹿沼市農業公社（所在地：鹿沼市塩山町1329-19）

鹿沼市が設立した公益財団法人であり、農地利用集積事業や循環型社会形成事業を行っています。

*4 B-DASHプロジェクト

国土交通省では、新技術の研究開発及び実用化を加速することにより、下水道事業におけるコスト縮減や再生可能エネルギー創出等を実現し、併せて、本邦企業による水ビジネスの海外展開を支援するため、下水道革新的技術実証事業（B-DASHプロジェクト）を実施しています。事業の実施にあたっては、国土交通省にて有識者の審議を経て実証事業を採択し、国土技術政策総合研究所からの委託研究として、民間企業が必要に応じて地方公共団体や大学等と連携しながら実証研究を実施しています。

《本リリースに関するお問い合わせ先》

月島機械株式会社 経営企画部（IR担当） TEL 03-5560-6513

《脱水乾燥システムに関するお問い合わせ先》

月島機械株式会社 水環境事業本部 新事業推進部 TEL 03-5560-6540

以上